

「水防災意識社会 再構築ビジョン」

「斐伊川流域の減災に係る取組方針」及び
「斐伊川水系中海沿岸の減災に係る取組方針」に基づく

進捗状況確認資料

【説明用】

平成29年5月23日

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

〔 松江市、出雲市、雲南市、島根県、松江地方気象台、
国土交通省中国地方整備局 〕

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

〔 米子市、境港市、松江市、安来市、鳥取県、島根県、
松江地方気象台、国土交通省中国地方整備局 〕

減災のための目標

(斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

■ 5年間で達成すべき目標

斐伊川治水3点セットの早期完成に向け事業推進を図りつつ、大規模水害に対し、天井川、連結汽水湖の氾濫特性を踏まえたハード・ソフト対策を推進し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

※大規模水害……想定最大規模降雨における洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化……大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■ 目標達成に向けた3本柱の取組

目標達成に向け以下の取組を実施。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
- ② 天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動
- ③ 長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策

減災のための目標

(斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会)

■ 5年間で達成すべき目標

斐伊川治水3点セットの早期完成に向け事業推進を図りつつ、大規模水害に対し、中海の氾濫特性を踏まえたハード・ソフト対策を推進し、**「住民の防災意識の向上」、「浸水被害の最小化」**を目指す。

- ※大規模水害 …… 想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水や高潮氾濫による被害
- ※防災意識の向上 …… 洪水のみならず高潮や内水への危機察知能力を向上させる
- ※浸水被害の最小化 …… 大規模水害による浸水被害を軽減し、早期に生活を再開させる

■ 目標達成に向けた3本柱の取組

目標達成に向け以下の取組を実施。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な**避難行動のための取組**
- ② 中海の浸水特性に応じた効果的な**水防活動及び施設運用の取組**
- ③ 予測しづらい**高潮への対応能力を高める取組**

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■洪水を安全に流すためのハード対策の推進

○堤防整備（浸透対策、パイピング対策、流下能力対策）【順次実施】

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備【平成29年度】

○河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上【平成31年度】

■想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表【平成28年度から検討実施】

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し【平成30年度】

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し【平成30年度】

○洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供【平成29年度から検討実施】

○夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討【平成30年度】

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■洪水及び高潮に対するハード対策の推進

○中海湖岸堤整備【順次実施】

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備【平成30年度】

○河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上【平成28年度から検討実施】

○防災情報の周知徹底【平成28年度から検討実施】

■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、浸水シミュレーションの公表【平成28年度から検討実施】

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し【平成29年度から検討実施】

○洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供【平成28年度から検討実施】

○夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討【平成28年度から検討実施】

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

○斐伊川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施
【平成29年度から実施】

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付
【平成31年度】

■多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定
【平成30年度】

○避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練（斐伊川水防演習）の実施
【平成28年度から検討実施】

■防災教育や防災知識の普及

○天井川である斐伊川本川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開
【平成29年度】

○尾原ダムの洪水調節や斐伊川放水路の分流など避難の目安となる目標物のリアルタイム映像情報の配信・共有
【平成30年度】

○「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知
【平成28年度から定期的に実施】

○小中学校などと連携した斐伊川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充
【平成29年度から定期的に実施】

○住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用したより実践的な防災教育の実施
【平成29年度から定期的に実施】

○プッシュ型の洪水予報等の情報発信
【平成29年度から順次実施】

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

○中海沿岸の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害（防災）教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施
【平成29年度から実施】

○想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付
【平成28年度から検討実施】

■多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○河川管理者、沿岸自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定
【平成30年度】

■防災教育や防災知識の普及

○「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知
【平成28年度から順次実施】

○小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実
【平成28年度から順次実施】

○住民の水防災意識の向上に資する出前講座等を活用した防災知識の普及
【平成28年度から定期的に実施】

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

○地域防災リーダーの育成 【平成28年度から定期的に実施】

○河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修の実施
【平成28年度から定期的に実施】

○市長に対し助言を行う者の育成・派遣
【平成28年度から定期的に実施】

②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動

②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

○洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備【平成29年度】

○水害に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備【平成30年度】

○河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上
【平成31年度】

○河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上
【平成28年度から検討実施】

○防災情報の周知徹底
【平成28年度から検討実施】

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

○消防団員と兼任する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
【平成28年度から定期的に実施】

○斐伊川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区について、消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施
【平成28年度から定期的に実施】

○中海沿岸の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について、消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施
【平成28年度から定期的に実施】

○水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合水防訓練(斐伊川水防演習)と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施
【平成28年度から定期的に実施】

○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認
【平成28年度から定期的に実施】

○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認
【平成29年度から定期的に実施】

概ね5年で実施する取組

斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策	
■排水活動に資する基盤等の整備	
○大橋川改修【順次実施】	
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	
○排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成【平成29年度】	
○排水計画に基づく排水訓練の実施【平成29年度から定期的に実施】	
■目標以外の取組	
○「平成18年7月洪水から10年シンポジウム」の開催【平成28年度】	

斐伊川水系中海沿岸の大規模水害に関する減災対策協議会

■施設運用の確実な実施

○排水施設の操作説明会の実施【順次実施】

③予測しづらい高潮への対応能力を高める取組

■高潮に対するハード整備の促進

○中海湖岸堤整備(再掲)【順次実施】

■想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表等

○想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表【平成29年度】

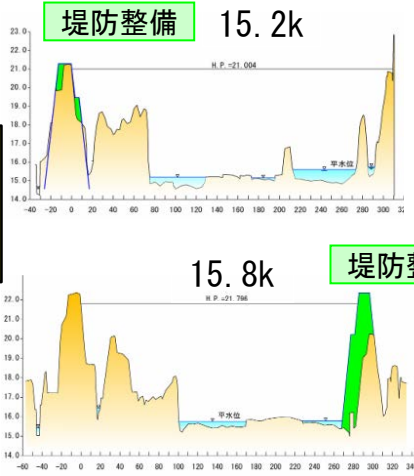
○高潮の予測・予測手法の検討【平成28年度から検討実施】

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 洪水を安全に流すためのハード対策の推進

○ 堤防整備(浸透対策、パイピング対策、流下能力対策)



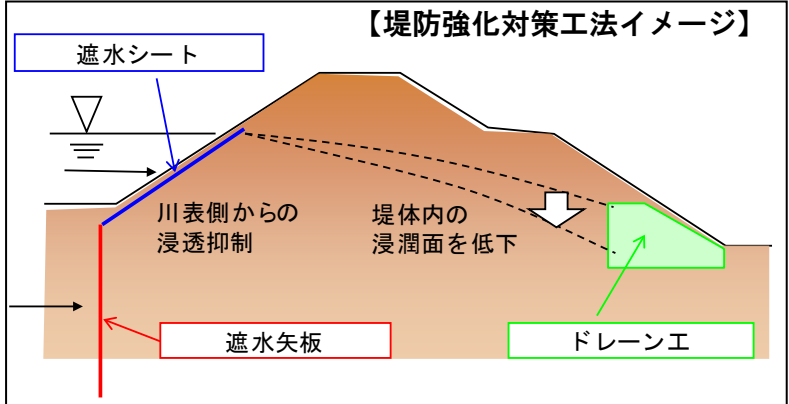
【流下能力対策】



【浸透、パイピング対策】



川表：堤防への浸透を抑制
川裏：堤防からの排水を促進

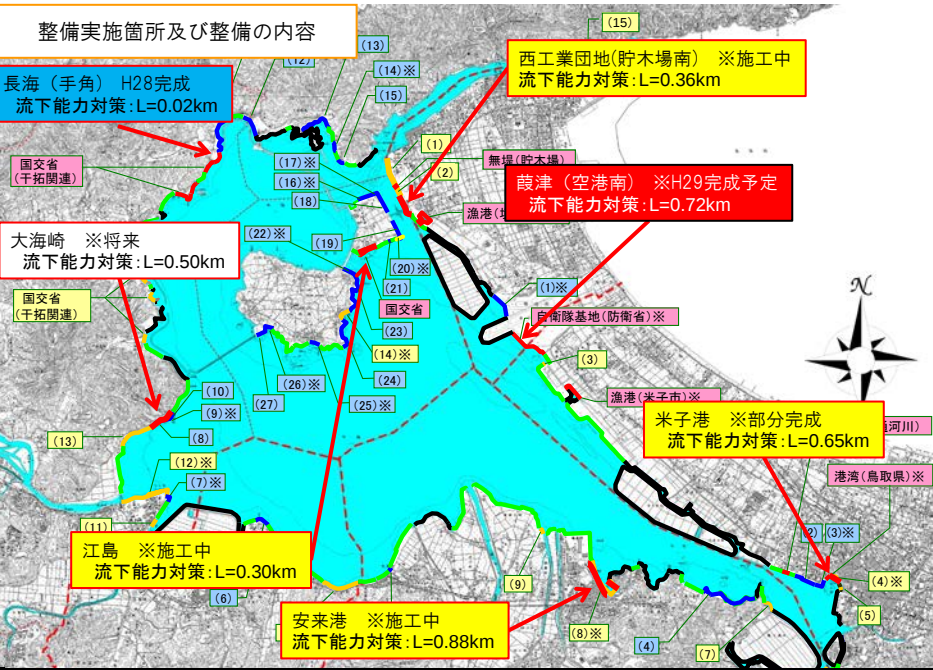


- 浸透対策
- パイピング対策
- 流下能力対策

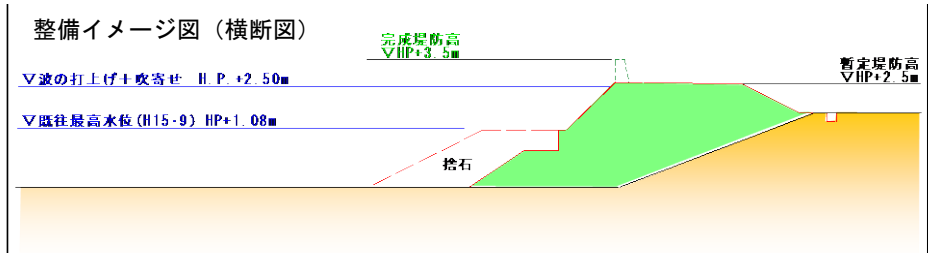


① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 洪水及び高潮に対するハード対策の推進

○ 中海湖岸堤整備



凡 例	
—	湖岸堤高(及び背後地盤高)がH.P.+1.44m未満の箇所 注)浸水実績がない箇所等を除く
—	湖岸堤高がH.P.+2.50m未満(かつ背後地盤高H.W.L.未満)の箇所
—	湖岸堤高(及び背後地盤高)がH.P.+2.50m 未満の箇所
—	湖岸堤高がH.P.+2.50m～H.P.+3.50mまたは背後地盤高がH.P.+2.50m以上
—	湖岸堤高がH.P.+3.50m以上若しくは山付け区間(堤防不要区間)
整備目標: I 短期整備箇所	
整備目標: II ① 短中期整備箇所	
整備目標: II ② 中期整備箇所	



整備目標

中海湖岸堤は、既往最高水位(H15.9)のH.P.+1.08mに対し、中海のはん濫注意水位H.P.+0.9m以上で観測された最大風速18.3m/s(H16.9)により推計される最大の打上げ高を考慮した堤防高さを確保するための整備を行うものです。

既往最高

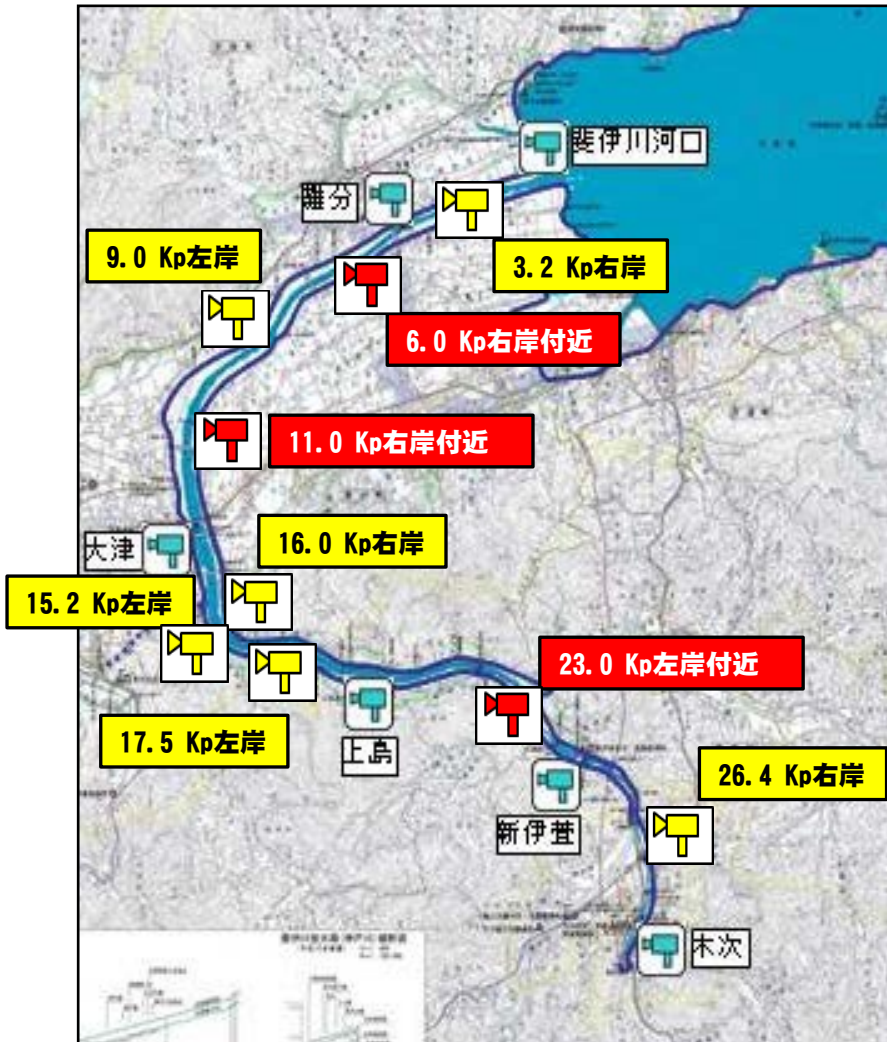
うちあげ

吹き寄せ

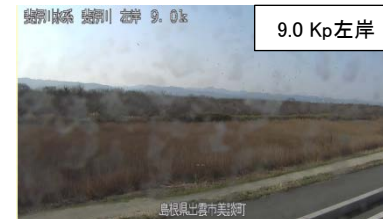


- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
 - ② 天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動(斐伊川)
 - ② 中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組(中海)
- 避難行動、水防活動等に資する基盤等の整備

○ 洪水(水害)に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備



流下能力が低い箇所等の洪水に対しリスクが高い箇所を監視するCCTVを平成28年度末までに6基増設済み。更に本年度3基増設し監視を強化。



	河川管理用カメラ(既設)	6基
	河川管理用カメラ(H28末までに増設)	6基
	河川管理用カメラ(H29増設予定)	3基
		計15基

※斐伊川本川における直轄管理区間内の整備数(施設管理用を除く)

○ 防災情報の周知徹底

《災害発生時の周知(伝達手段)》

○ 防災行政無線放送

- ・メール配信(登録者: あんしんトリピーメール)
- ・メール内容の市ホームページ、フェイスブック掲載
- ・防災ラジオ(独居高齢者及び難聴世帯の希望者)

○ 広報車

○ 市ホームページ

○ 緊急速報(エリア)メール

○ 対象施設等への電話連絡等

☆ 報道機関への情報提供による周知



《平常時の取組》

○ 市報への掲載

(「日頃からの災害への備え」コーナー)

○ 市ホームページ等への掲載

○ 出前講座の開催



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

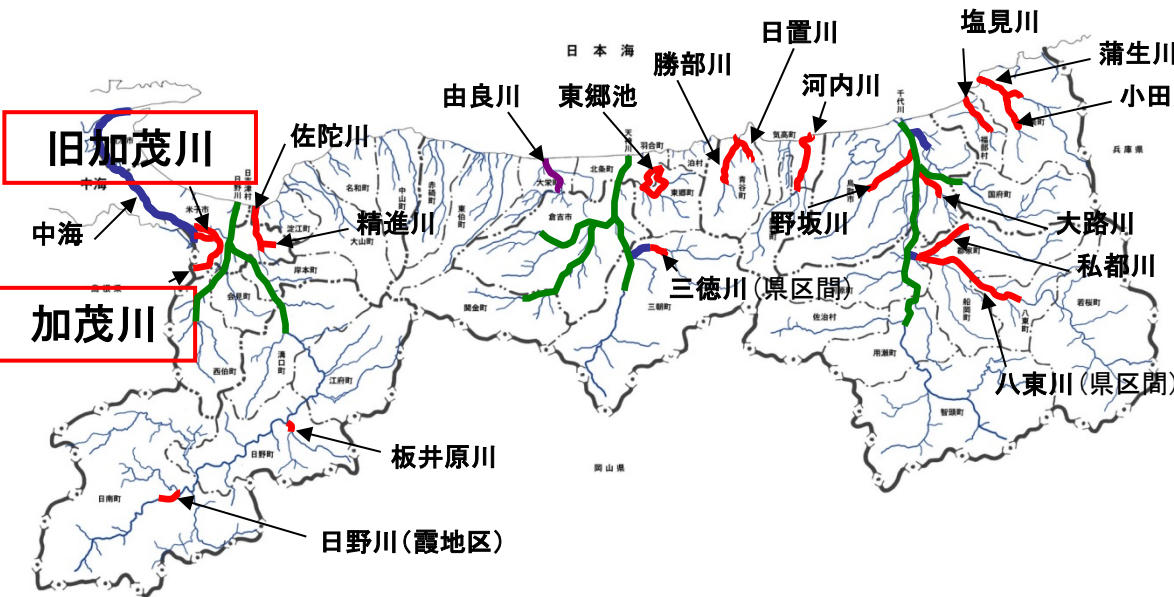
■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

中海

鳥取県

○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図等の公表(鳥取県)

県管理の洪水予報河川及び水位周知河川 19河川について、想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図等を平成29年度中に公表予定。(斐伊川水系の加茂川、旧加茂川含む)



- 〔水位周知河川〕
- 国土交通省指定河川 (Blue line)
 - 鳥取県指定河川 (Red line)
- 〔洪水予報河川〕
- 国土交通省指定河川 (Green line)
 - 鳥取県指定河川 (Purple line)

【想定最大規模降雨における浸水想定区域図作成スケジュール】

管内	河川名 (洪水予報河川・ 水位周知河川)	実施年度					
		H27	H28当初	H28補正	H29	H30	H31
鳥取	大路川		○				
	野坂川		○				
	蒲生川					○	
	小田川					○	
	塩見川					○	
	河内川	○					
	勝部川	○					
	日置川	○					
八頭	八東川					○	
	私都川					○	
中部	東郷池						○
	三徳川					○	
	由良川						○
米子	加茂川					○	
	旧加茂川					○	
	佐陀川					○	
	精進川					○	
日野	板井原川						○
	日野川						○

※平成28年度中に前倒しで着手

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図等の公表(島根県)

県管理の洪水予報河川及び水位周知河川 19河川について、想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図作成の基礎資料のためレーザー測量を実施。

平成29年度以降随時公表予定。(斐伊川水系の7河川含む)



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

○ 洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供

外国人住民のための防災研修

◆ 日 時 平成29年3月11日(土) 10時00分～14時30分

◆ 会 場 出雲市消防本部

◆ 主 催 出雲市(国際交流室・防災安全課・消防本部)

◆ 共 催 NPOエスペランサ・(公財)しまね国際センター

【概要】

◆ 洪水、地震、土砂災害等の災害に備えて外国人住民を対象とした研修会を実施。

◆ 災害時の避難情報等の取り方や避難場所の確認などを行いました。

◆ 地震の体験や消火訓練などを行いました。



防災情報等の基礎知識を学びました



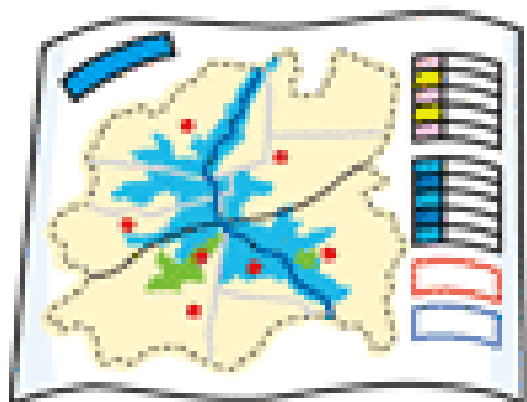
消火訓練を行いました



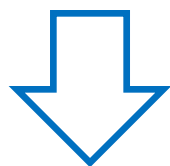
応急手当について学びました

○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付

各地区ハザードマップ



計画規模降雨による浸水想定区域
を想定最大規模降雨による浸水想
定区域に修正



- ・各地区の公民館での掲示
- ・ホームページへの掲載

各戸や事業所への配布については、
県管理河川の想定最大規模による浸
水想定区域や想定最大高潮による浸
水想定区域の公表後、検討していく。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
■ 多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○ 避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練(斐伊川水防演習)の実施

平成28年5月29日(日曜日)に出雲市武志町地先の斐伊川河川敷公園下流にて開催。
水防工法の訓練を行い、技術の習得、錬磨を図るとともに水防に係わる職員の士気の高揚に資することが目的。
斐伊川流域において洪水が発生するという想定で、タイムライン(防災行動計画)に基づき、実態に即した演習を行った。



出雲市長挨拶



水防専門家による水防工法の指導



子供達も土のう作りを体験



タイムラインに基づき
出雲市長へホットラインで連絡



出雲市長による水防工法視察



排水ポンプ車の設置訓練

○ 天井川である斐伊川本川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開

・ 斐伊川左岸12.6k付近で堤防が決壊した場合における氾濫流のイメージ動画を作成。

・ 氾濫流により家屋が流失する状況や浸水到達状況などを表現し、大規模水害時の危機意識の醸成と避難行動を啓発。



○ 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知

洪水予報連絡会や出前講座において、「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知を行った。

- ・ 洪水予報連絡会 平成28年6月23日 松江国道事務所
- ・ 出前講座 平成28年5月10日 出雲市 阿宮西コミュニティセンター
- 平成28年6月 7日 出雲市 出東コミュニティセンター
- 平成28年8月23日 出雲市 塩冶コミュニティセンター
- 平成28年10月2日 出雲市 大津小学校



地上デジタル放送



出前講座
(出雲市出西コミュニティセンター)



出前講座
(出雲市阿宮コミュニティセンター)

■防災教育や防災知識の普及

○小中学校などと連携した斐伊川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充【斐伊川】

○小中学校などと連携した中海沿岸の水害の特徴を踏まえた防災教育の普及、充実【中海】

■平成28年11月22日(火)に近年発生する様々な水害に関してどう対応していくかなどを考えるきっかけとして防災訓練を開催。

■米子市総務部防災安全課職員2名から、住民避難に関することや発災時の対応について講演。

■講演では、近年発生した水害を振り返り、中海の特性や津波のメカニズム、浸水想定、水害時にとるべき行動等を紹介した。

【概要】

日 時:平成28年11月22日(火)

会 場:鳥取県人材育成センター

参加者:約100人

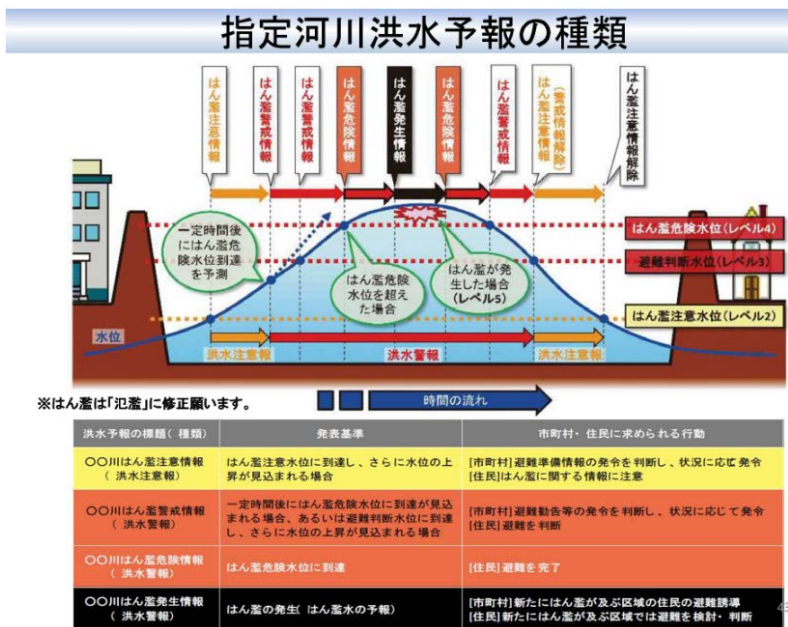
主 催:米子市防災安全課



講演の様子

○住民の水防災意識の向上に資する出前講座等を活用した防災知識の普及

- 松江地方気象台は、松江市、出雲市、安来市、雲南市に於いて、自治体や住民などの依頼により、出前講座を実施している。
- 防災気象情報の利活用の項目として、水防災の知識普及も実施している。



○ プッシュ型の洪水予報等の情報発信

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信(参考資料)

～平成29年5月1日から、9水系21流域流域市町村で洪水情報を配信開始しました。～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、流域住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月より国が管理する2河川(鬼怒川、肱川)の流域自治体(茨城県常総市、愛媛県大洲市)において緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。

中国地方整備局では、平成29年5月1日から、自治体や携帯電話事業者との調整等が整った9水系21流域自治体において洪水情報のプッシュ型配信を開始しました。

他の国管理河川については、今後順次配信エリアを拡大していきます。



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、水害時に流域住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

○ 地域防災リーダーの育成

- 安来市では、平成24年から毎年、地域防災力の向上及び防災意識の啓発を目的として、『安来市防災指導者講習会』を開催しています。
- 受講終了者には、安来市防災指導者認定証(有効期間2年)を発行します。
- また、防災指導者専用の帽子・ビブスを支給し、着用してもらうことで、リーダーとしての自覚を促しています。
- 講習会には、地域の自主防災組織、消防団等から参加。

【平成28年度実績】

安来市防災指導者講習会

日 時：平成28年8月4日（日）
8時30分～16時00分

会 場：安来市中央交流センター
参加者：34人

『防災気象情報の利活用について』 (講師：松江地方気象台)



『もしもに備えを！みんなの命の守り方 ～つながりこそ地域の力～』 (講師：島根女性センターあすてらす)



『土砂災害警戒区域・特別警戒区域について』 (講師：島根県砂防課)



『応急手当講習・基本結索・消火器使用法』 (講師：安来市消防本部)



○ 河川管理に従事している職員の説明能力向上のための研修の実施 ～ 災害対策基本法に基づく助言に関する研修会を開催～

- 日 時: 平成28年5月19日(木)
- 会 場: 鳥取県倉吉市(建設技術センター大研修室)
- 参 加 者: 58人
- 対 象 者: 異常気象待機をする県土整備事務所・整備局職員
- 目 的: 避難勧告等の判断にかかる助言で知っておくべきことの確認
- 概 要
 - ・ 災害対策基本法の改正に伴う助言について
 - ・ 助言の責任者について
 - ・ ホットラインについて
 - ・ 助言に関するQ & A
 - ・ 想定される市町村への助言のポイント
市町村から求められる助言の内容(想定)
助言の際に知っておくべきこと

等々



○市長に対し助言を行う者の育成・派遣

- ・災害本部の中核的な役割を担う防災監・危機管理監・防災部局の長、それに準ずる職員（災害発災時において災害対策本部長（首長）を補佐する役割を担う職員）を養成するため災害対策専門研修に参加した。

①災害対策本部長の補佐

- ・災害対策本部長の意思決定をサポートする

②目標・戦略の案の策定

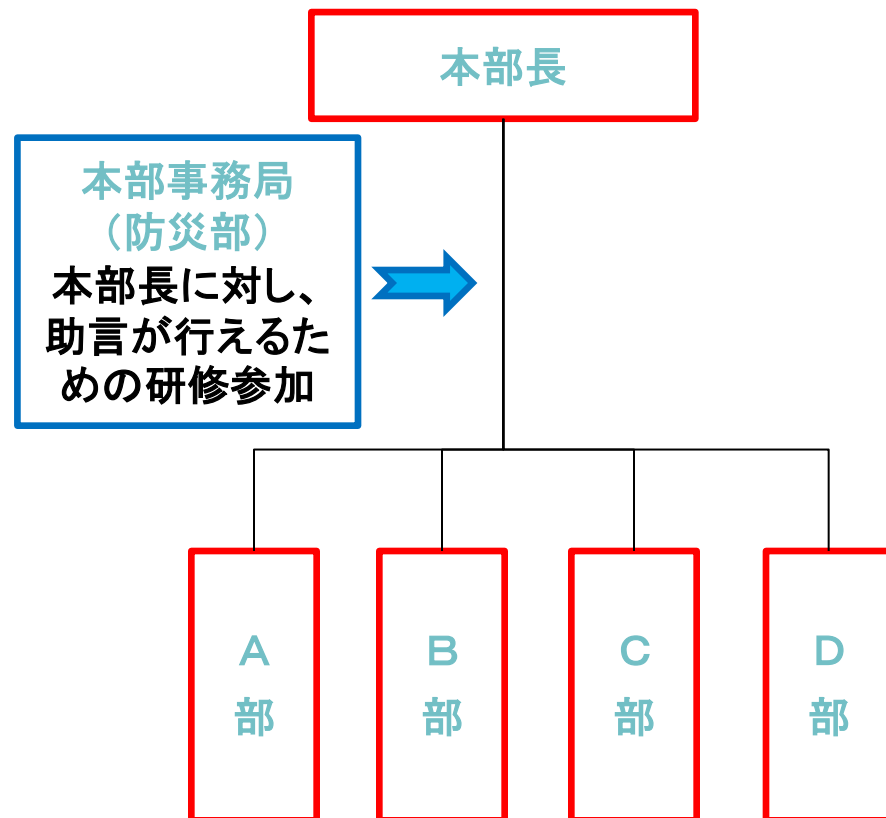
- ・被災地の状況を分析し対応目標を設定する
- ・目標を実現するための戦略を立案する

③本部組織の運営マネジメント

- ・本部各部署の統制・調整を図る
- ・本部事務局を指揮する

④庁外組織との体制確立・調整

- ・応援機関（消防・自衛隊・自治体・NGO等）との調整



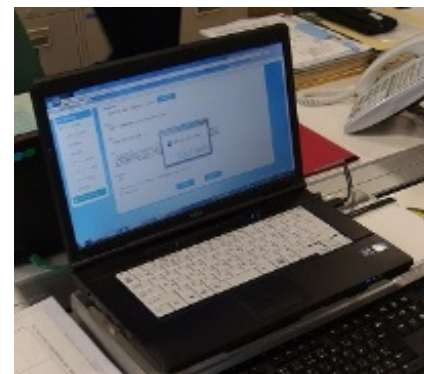
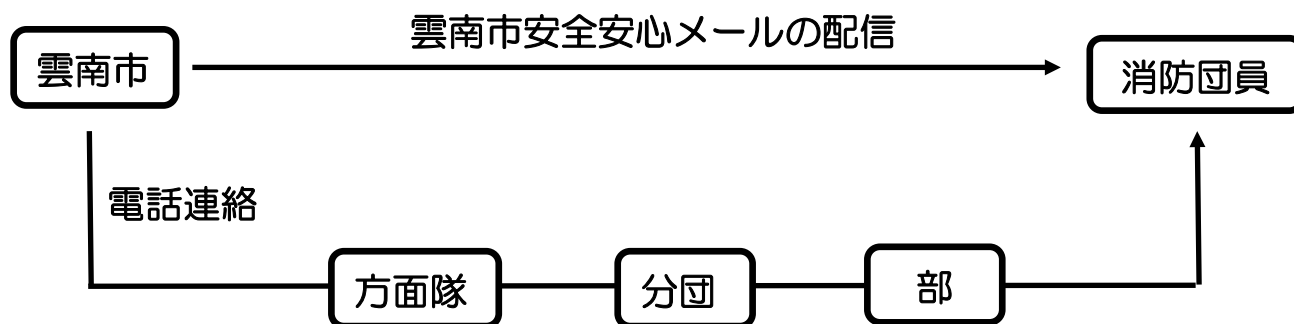
②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施
 ■水防体制の効率化及び水防活動の強化

○消防団員と兼任する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施



4月に開催する雲南市消防団幹部会において、水防活動の出動及び連絡体制について確認している。

水防活動への出動が必要となる際には、雲南市安全安心メールを雲南市消防団員に配信し招集を行うとともに、電話連絡網も活用し招集を行っている。また、その後の水位状況についても情報伝達を図っている。



- ②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施(斐伊川)
- ②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組(中海)
- 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○斐伊川本川(中海沿岸)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について、消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施

- 洪水に対しリスクの高い区間である重要水防箇所を地域住民等と合同で点検(視察)。
- 各市毎にマイクロバスで移動し、現地において重要水防箇所を確認。
- 重要水防箇所の評定基準等の説明。
- 参加者は消防団(水防団)長、自治会長等及び市、県、国の担当者。

【平成28年度実績】

重要水防箇所の合同点検(視察)

開催日：平成28年6月16日(木)～27日(月)

境港市(6月16日)



米子市(6月16日)



安来市(6月22日)



松江市(6月27日)



②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

斐伊川

出雲河川事務所

○水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合水防訓練(斐伊川水防演習)と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施

平成28年5月29日(日曜日)に出雲市武志町地先の斐伊川河川敷公園下流にて開催。

水防専門家による水防工法の指導



ロープワーク



土のう積み



出雲結い工



釜段工法



木流し工法



シート張り工法

- ②天井川や湖沼の氾濫特性に応じた効果的な水防活動の実施(斐伊川)
- ②中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組(中海)
- 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認

- 水防管理団体等と河川管理者との間において水防に必要な情報の交換を行い、洪水時等における協力体制の強化を図ることを目的として、『斐伊川水系水防連絡会』を開催。
- 関係機関の備蓄水防資機材の整備状況、出雲河川事務所の災害対策用機械の保有状況及び支援要請方法等を確認
- 関係機関の水防連絡体制(系統)を確認。
- 水防団の知識・技能向上に向け水防専門家派遣制度等を紹介。

【平成28年度】

斐伊川水系水防連絡会

開催日：平成28年6月24日(金)

会 場：松江国道事務所 大会議室

参加者：国、鳥取県、島根県、境港市、米子市、安来市、松江市、出雲市、雲南市等の担当者



② 中海の浸水特性に応じた効果的な水防活動及び施設運用の取組

■ 施設運用の確実な実施

中海

出雲河川事務所

○ 排水施設の操作説明会の実施

- 排水門の操作方法の説明（彦名公民館）
- 排水門の実操作の現地講習
- 参加者は彦名地区の排水門操作員及び米子市、国の担当者

【平成28年度実績】

米子市排水門操作説明会（彦名公民館にて）

開催日：平成28年5月25日（水）

米子市（5月25日）操作方法の説明



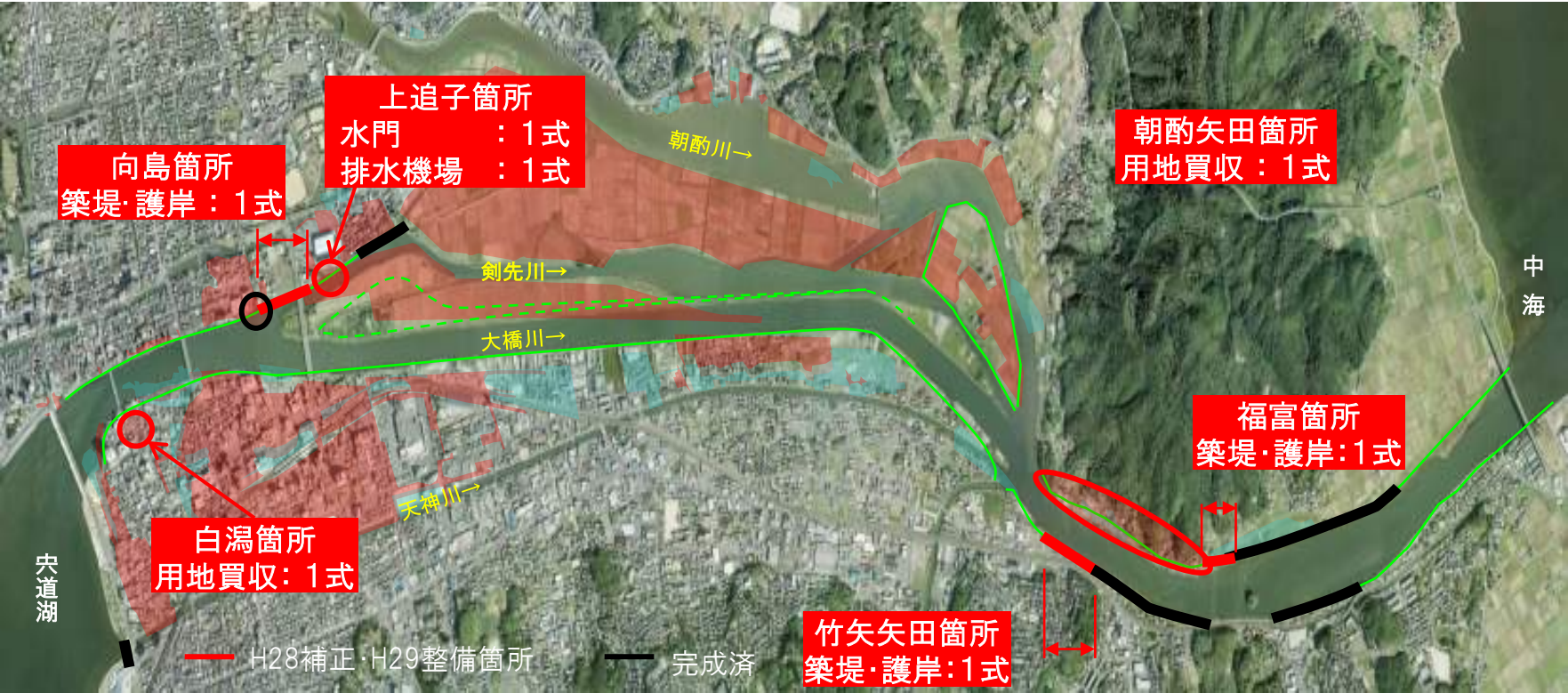
米子市（5月25日）現地講習



大橋川改修

◆洪水を安全に流すためのハード対策の促進
宍道湖を含め全川にわたって水位低減効果が期待できる狭窄部の拡幅(下流→上流の順)を最優先に事業の促進を図る。

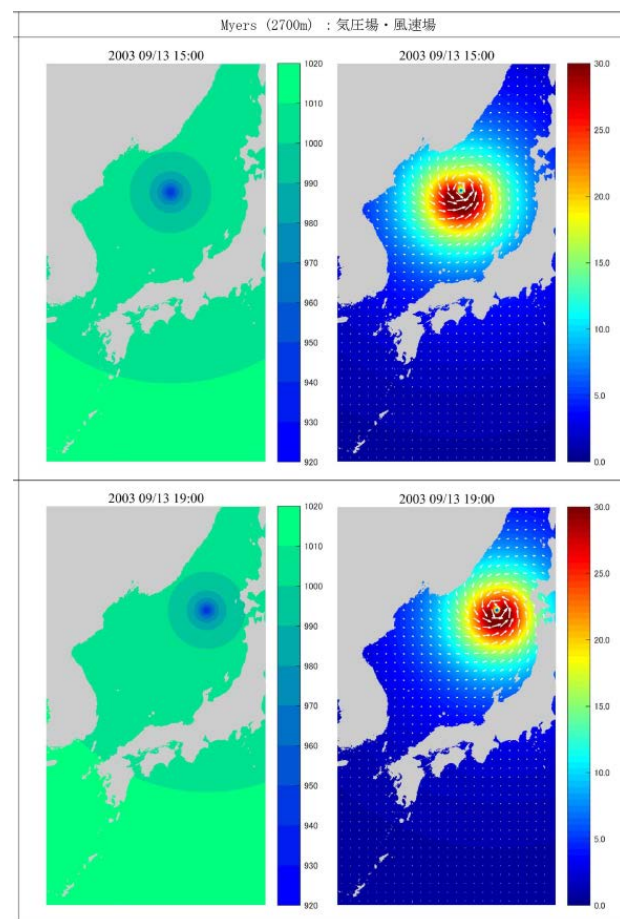
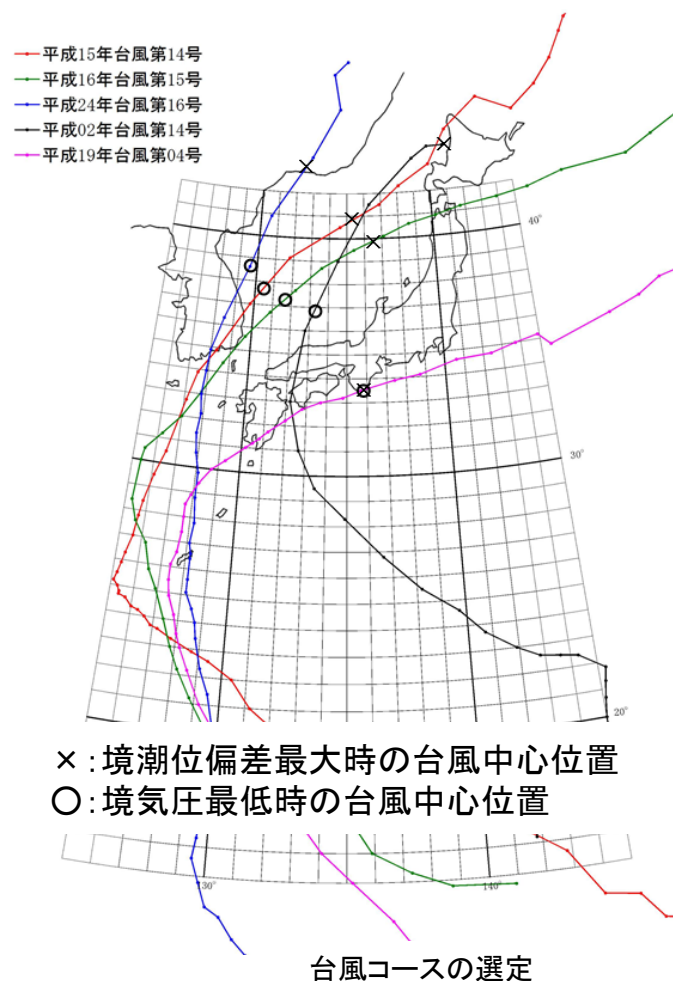
平成29年度について、下記地区における築堤護岸、水門、排水機場、用地補償等を実施。



○想定最大規模高潮における浸水シミュレーションの実施・公表

○高潮の予測・予測手法の検討

- ・「高潮浸水想定区域図作成の手引き（H27.7）」を参考に、中海における高潮シミュレーションモデルを構築中。



高潮推算

気圧場、風速場のシミュレーション

平成18年7月豪雨災害から10年シンポジウム 「当時を振り返り、今何をすべきか考える」

斐伊川

出雲河川事務所

- 今年は、平成18年7月に島根県東部を襲った豪雨災害から10年目の節目であり、当時を振り返り、今、またはこれから何をすべきか地域の皆さんと一緒に考えるきっかけとしてシンポジウムを開催。
- 松江工業高等専門学校の浅田教授から、住民避難に関する問題点とあるべき対応について講演。
- 松江市長、出雲市長、雲南市長、浅田教授、出雲河川事務所長によるパネルディスカッションにおいては、平成18年7月豪雨災害を振り返り、今年の6月に公表した想定最大規模降雨における浸水想定を踏まえ、7月に取りまとめた「斐伊川流域の減災に係る取組方針」から重点的に対応を図るべき内容について、公開討論。
- 会場内では、水防災意識社会再構築ビジョンに基づく「斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会（松江市、出雲市、雲南市、出雲河川事務所、松江国道事務所、松江地方气象台）」の取り組み内容等をパネルで紹介。

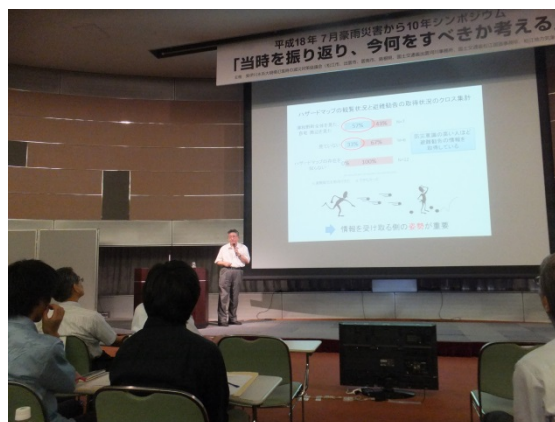
【概要】

日 時：平成28年7月18日（月・祝）

会 場：松江市（くにびきメッセ）

参加者：約300人

主 催：斐伊川水系大規模氾濫時の減災対策協議会



基調講演（松江高専 浅田教授）



パネル展示



パネルディスカッション（松江市長、出雲市長、雲南市長、浅田教授、出雲河川事務所長）